

研究公正に関する ヒヤリ・ハット事例に学ぶ

日時・開催形式 ※各回の内容は同一です。

第1回

2022年

11/24 木 13:30
17:30

対面式：会場 大手町三井カンファレンス

〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi One 三井物産ビル4F

第2回

2022年

12/20 火 13:30
17:30

Zoomを用いたオンライン形式

1つの重大事故の陰には29の軽微な事故と300の事故には至らないヒヤリとした・ハットしたできごとがあるとされており（ハイリッヒの法則）、様々な組織で事故防止のために、ヒヤリ・ハットの段階で情報を共有し、対策が講じられています。研究不正においても同様で、研究不正に至ることなく踏みとどまれた好事例において、どのような状況において、どのような思考・会話・助言があり、思いとどまることができたのかを知ることは、研究公正のために非常に有用であるはずで。

本ワークショップでは、研究倫理教育の実施や企画に携わる方がヒヤリ・ハット事例についての考察や議論を行い、研究公正についての新たな気づきを得て、より深く学ぶことを目指します。

定員

各回80名程度
(8名×10班等のグループ分けを予定)

対象者

研究倫理教育を実施する大学教員
企画を行う担当部門の責任者
※職務上の行為として研究倫理教育に携わっている方、
これから携わる予定の方を対象とします

ファシリテーター

片倉 啓雄 (関西大学 化学生命工学部 教授)
岡林 浩嗣 (筑波大学 生存ダイナミクスセンター 講師)
金井 康郎 (田辺三菱製薬株式会社 創薬本部 主幹)

プログラム

講演 研究公正に関するヒヤリ・ハットとは (webにて事前に聴講)
グループワーク① 仮想ヒヤリ・ハット事例における相反問題
(ジレンマ状況) の検討
グループワーク② 仮想ヒヤリ・ハット事例の分析
議論の共有

お申し込み・お問い合わせ

右記サイトよりお申し込み・お問い合わせください。

※先着順に受付、各回の定員に達した場合、参加登録を締め切ります。
※ワークショップのご参加にあたっては、講義ビデオの事前聴講や、事前課題への取組をお願いしますのであらかじめご準備ください。事前課題は開催の約2週間前の送付を予定しています。十分に時間をかけて取り組んでいただくために、早めのお申し込みをお勧めします。
※また、経験者の方にはグループワークでの司会をお願いする場合があります。
※なお、仮想ヒヤリ・ハット事例は昨年度と同一のものを使用して議論を行いますが、昨年度参加された方もお申し込みいただけます。

問い合わせ先 (受注会社)：EY新日本有限責任監査法人
メールアドレス：RCR2022@jp.ey.com

第1回
11/24(木)



第2回
12/20(火)



https://www.amed.go.jp/news/event/20221124_workshop.html

参考資料

AMED「研究公正に関するヒヤリ・ハット集」

